



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

有限会社久米製材所

所在地

鳥取県倉吉市下米積 599

代表者

代表取締役 門脇 義樹

業種

製造業

事業概要

工務店・ハウスメーカー向けに建築用木材を製材、販売。
地域産材（鳥取県産材）の製材割合を年々増加させている最中であり、地域材を中心に一般住宅、非住宅物件建築の木材供給を行っている。

土木業者向けへは、製材の際の側板から杭・野地板などを製造し販売している。

その他、製材端材、おが粉などをバイオマス発電原材料や契約酪農業者などへ販売。個人向けの焚き付け用の薪の販売も常時行っている。

<2030 年に目指す姿>

住宅などの建物に使用される木材を製材・販売している弊社は、地場ビルダーとの正当取引、地域産材利用促進を通じ、スタッフが生きがい、働き甲斐を感じ、木材業界があこがれの仕事となるような職場環境の整備に取り組んでまいります。また、人々の健康、地域森林資源循環の確保、持続的な地域経済への貢献を目指しています。

昨年発生した「ウッドショック」は国産材生産体制の脆弱性及び外国材依存という課題を浮き彫りにしました。日本は森林大国にも関わらず、都会地を中心に、行き過ぎた資本主義経済と相まって、建築現場も製材現場も消費者も「安いが良い」と外国産材へと向かった結果がはっきり現された格好であります。現在、日本の森林は伐採期を迎えているにもかかわらず、川上～川中部分では就労者の減少、製材所の廃業倒産が相次いでいます。

我々が扱う国産材は地域の森林サイクルの中から、搬出されたものです。CO2 を固定し切ったものや間伐された原木を木材市場を通じて購入しています。自社で製材・乾燥し、工務店・ビルダーを通じて最終消費者へと届けられます。効率化を求めた「大規模集約化」ではなく、原木市場、建築現場との情報共有の中から必要なものを必要な時に供給し、木を最大限に活かす製材所を目指しています。

原木（CO2 固定されたもの）の購入量から算定される CO2 固定量と製造・現場搬入の際に排出する CO2 の把握に努め、上記差額部分を J-クレジットによる排出権購入しカーボンオフセットの実現を目指します。上記取り組みにより、川上側に原木購入資金以外の面でも整備資金援助が出来るものと考えます。

<重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

●地域産材の積極的な活用

【負の影響】

地域産材の更なる利用と製造能力強化を図っているところ（R4年度設備投資予定）であるが、弊社製造能力の強化は地域の森林がむやみやたらに伐採され、環境破壊に繋がるのではないかとの意見もあろうと考える。

【概要】

本設備投資（モルダー加工機）は、「現場」へジャストインタイムで必要部材を供給することを目的とする。

（モルダー加工とは…）

鋸での製材では鋸刃による裁断となるため、断面がざらついている状態である。その材面を1度に4面精巧な寸法で仕上げ加工するもの。現在現場にて流通しているものの殆どはモルダー加工された製品（柱・下地など）となっている。また、板材を壁板やフローア等の加工板とすることも出来る。

我々のような零細製材所が繋がっているのは大工場のように商社でも問屋でもなく「地域の建築現場」である。その現場から年々聞こえてくるのは「必要なものを必要な分だけ最終仕上げで納入して欲しい」というニーズである。これには、①現場で無駄なゴミを出したくない②大工の時間的な関係（何現場も持っており自分で切削する時間が無い）という側面がある。切削・最終仕上げ工程が大工職人⇒弊社へシフトする格好となるが、加工時の木材屑は既存の酪農家への供給やバイオマス発電燃料として再利用でき、結果的に建築現場での廃棄物削減となる。また、職人の時間的余裕を作ることでもでき、職人自身の技術向上や下請以外の自分の仕事へ向かえる環境作りにも寄与できるものと思料。

【所見】

上記より、大量伐採の環境破壊というより「必要な丸太を最後まで使い切ること」「建築現場の課題解決」のための取組みであり、大量生産大量消費の設備投資とは意味合いが違うものである。また、違法伐採されたものは取り扱わない「合法木材供給業者」として登録済みである。ただ、ウッドショック発生後、国産材回帰の流れが非常に強く、大資本による原木買い占めが横行しているのが現実である（買い占め抑制のための声明が出されたほど）。そういった流れと一線を画すためにも、年間棟数をしっかり把握し、必要な量の原木を計画的に調達することに気を付けなければならない。

社会(1/2) : 有限会社久米製材所

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に、危険箇所・注意事項などの確認を行い情報共有している。 ・毎朝、ラジオ体操を行い、作業前の準備運動を行っている。 ・従業員の意見を汲み取っての製品配置の改善や敷地整備などを実施。 ・指さし確認励行。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働災害発生ゼロ (R6 年度まで) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働災害が発生しうる機械の近くへの注意喚起表示。 ・同業者の工場への見学。 ・工場内パトロールによる情報共有。
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営とスタッフの間に 1 名置き、スタッフの意見集約などを行っている。 ・経営、スタッフ問わず、発言できる環境づくりを行う(製材現場で話す)。 ・HP 採用方針にて、ハラスメント防止等について情報発信している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員アンケートでハラスメント件数ゼロ (R6 年度まで) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント規定を別途作成、明文化する。 ・目安箱をスタッフ休憩室に設置する。
女性の活躍	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 25% (R4.3 時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 12% (R4.3 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の用事などでの半日休など弾力的に対応している。 ・ユニフォーム刷新など、新たな分野での意見をいただいている。 ・男性従業員でも家庭や子供の用事であれば休んでも OK にしており、働く奥さんなどに負担が行かないようにしている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 25% (R6 時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 12% (R6 時点)</p> <p>全ての女性従業員勤務年数 10 年超を目標とする。</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・零細企業につき女性人員数維持を目標とする。 ・リモートワークできる業務を検討する(経理・総務など)。そういった人材の採用を検討する。
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年後再雇用を行っている。 ・地域内の大工職人への加工依頼。 ・HP 採用方針へ年齢、性別、国籍などによる差別を行わない旨、本人の能力を重視して採用する旨宣誓している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部リソース(副業人材)などの活用を行う (R6 年まで) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副業人材プラットフォームの活用。 ・従前で時間的余裕が無かった部分への外部リソース活用。

社会(2/2) : 有限会社久米製材所

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の多能化により、急な休み(家庭の事情)などに対応できる体制としている。 ・有給休暇取得状況の管理、声掛け。 ・閑散期の一斉有給取得(土曜日などを対象に)。 ・残業規定はあるが、基本的に残業は無し。17時になったら帰る(16時30分から掃除開始)。本当に急ぐ仕事かどうかを事務所・スタッフで都度確認している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の副業を解禁する(R4年度中) ・長期休暇規定の制定(R5年度中) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社労士協会及び県の制度を利用し、副業規定を制定する。 ・上記制度を利用し、長期休暇規定を制定する。 ・社外の副業人材の活用を検討する。
労働者への人権配慮	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP採用方針へ労働者の人権配慮について宣誓している。 ・トップダウンでは無く、現場スタッフの意見を取り入れる。 ・雇用契約を結んでいる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員アンケート満足度4以上(5段階評価 R5年度より) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず従業員アンケートを実施する(目安箱) ・休憩スペースの環境改善(事務所移転時に検討)。 ・作業スペースの環境改善。
社会配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強度などが担保された製品(JAS:日本農林規格)を供給している。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モルダー加工機」導入により、全ての居住者の健康に寄与する製品を供給する。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度設備投資(モルダー加工機)。 ・クレーム対応窓口担当を決める。
地産地消	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内原木市場より仕入、製材。地域産材利用を促進している。 ・大型工場から多くの仲介業者を経て納品される木材製品を、出来る限り県内調達・自社製造へシフトしている最中ト。 ・県内工務店との取引優先。 ・木材 SCM 支援システム(もりんく)登録。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社が納入する住宅案件の全棟を県産材利用住宅とする(R6年度までに) ・自社内の原木内訳を3:1で国産材優位にする(R6年度までに) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造能力の拡充を図る(R4年度投資予定)。 ・ビルダー、工務店との打ち合わせでの国産材利用提案。 ・最終消費者への啓蒙・PR。
地域社会への貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の社会科見学受入れ。 ・地元中学校図書館への新聞寄付(朝日写真ニュース)。 ・工務店開催の木工教室への参加、材料提供。 ・端材を地元小学校へ提供、行事や授業へ利用 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場周辺の環境整備(R4年より) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場外周、加工場外周の草刈り。 ・事務所周辺のゴミ拾い活動。 ・夜間の工場稼働はしない。

経済(1/2) : 有限会社久米製材所

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
事業継続計画(BCP)の策定	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業庁指針に基づき、社内 BCP 作成。中小企業庁 HP への策定企業名掲載。(R4 年 3 月)。 ・社内による話し合い(事務所メンバー)。 ・土場など屋外危険個所の整備。 ・今後の投資計画の確認(事業継続に資する計画か)。 ・原材料仕入先との協定締結。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は社内で作成したに過ぎないので、外部機関による BCP 認定取得を目指す(R6 年度までに) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内 BCP の年 1 度の棚卸、改訂。 ・従業員にも改定作業に参加してもらう(周知徹底・再確認)。
セキュリティ対策	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積情報、売上情報は事務所サーバに保存している。 ・各 PC へのウイルス対策ソフトのインストール必須。フォーティゲート導入。 ・セキュリティアクション宣言。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ規則の策定(R4 年度中) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関によるセキュリティ対策チェックを受ける。 ・専門家を利用し規定を制定する。 ・スタッフへの周知、研修。
法令順守の取組の徹底	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則を設置。 ・無事故無違反チャレンジ 100 への参加。 ・アルコールチェックの義務化。 ・搬入現場でのヘルメット着用。 ・工場内、安全靴の着用。 ・工場内製材機械の定期点検。 ・フォークリフトの自主点検。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無事故、無違反(R6 年度まで) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣業者との研修実施。 ・定期的な面談(賞与支給時など)により、未然の法令違反防止を図る。 ・外部機関活用(相談窓口)を検討。
情報公開	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP による情報発信。 ・SNS(Instagram、Facebook)で情報発信。現状、情報が届きにくいエンドユーザーへも弊社事業、取組み等情報が届くよう努めている。 ・JAS 構造材活用宣言(全国木材協同組合連合会)、宣言済み。 ・木材 SCM 支援システム(もりんく)登録済み。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram フォロワー 2500 名を目指す(R6 年度までに) ・取引先からの情報公開に対する対応方針を策定する(R5 年度までに) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真だけでなく動画(製材風景)も取り入れる。 ・木材知識についての発信を強化する。 ・対応方針策定については、外部専門家の意見を取り入れる。
後継者の確保	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者確保済み。 ・経験者受け入れ。 ・継続的な人材募集。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフから役員を登用する。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務状況、戦略などを議論する。 ・現社長退任後の体制整備について協議する。 ・設備投資、戦略についての議論。

経済(2/2) : 有限会社久米製材所

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
自社以外の 経営資源活 用	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・製品仕入先(製品市場)確保済み。 ・プレカット(協業組合)利用。 ・地元職人、大工への外注。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・新分野での副業人材利用をする(R5年度までに) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン分野などでの副業人材利用。 ・Loino、クラウドワークスなどプラットフォーム利用。
デジタル化 による生産 性向上	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・過去販売データによる、年間製材量予測を実施。 ・積算、見積ソフト利用による案件毎利益の把握。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート業務体制を整備する(R6年度までに) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・経理、総務部門などの一部リモート化。 ⇒子供や介護など急な休みなどにも対応できるよう。
雇用の維持・ 拡大	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・R4年3月 中途採用1名。 ・定年後再雇用の実施。 ・入社前の面談時に、社内見学実施。 ⇒採用後のミスマッチ防止 ・ユニフォーム刷新や SNS での業務紹介など、スタッフが誇りを感じるような情報発信に努めている。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・男性1名、女性1名採用(R6年度まで) ・インターン制度利用(R5年度中に) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりインターンシップ登録。 ・設備増強による雇用促進。 ・リファラル採用(縁故採用)によるミスマッチ防止。 ・上記商会の際の手当を制度化する。
人材育成・能 力開発	【主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得は会社負担。 ・JAS 格付講義の受講。 ・外部ツールを利用したセミナー受講(金融機関、木材業界など)。 	【今後の目標・達成時期】 <ul style="list-style-type: none"> ・全員が機械を操作できるようにする(R6年度) 【目標達成に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・OJT の質を向上させ、多能化を図る。 ⇒予期せぬ事態にも対応できる。 ・同業工場、近隣異業種工場への見学。

環境(1/2) : 有限会社久米製材所

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策		
自然環境の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化による山火事⇒外材不足⇒国産材需要逼迫⇒ウッドショックに陥る ・大雨災害による土砂崩れ、流木被害など。 ・洪水など自然災害による情報消失。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山北部、島根松江、鳥取若桜に製品仕入先を確保。既製品確保はどの方からも確保する体制を作っている。 ・BCP 作成。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材力向上による地域材利用を促進し、外材依存から脱却。国産材比率を高める(R5 年度より)。 ・事務業務の拠点を再整備する(R6 年度) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場新設。機械導入(モルダー加工機)。 ・サーバ、PC など事務所業務は 2F で行う体制づくりに着手する。 ・紙ベースでの業務からの転換。
社会・制度の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争による物流停滞、材料高騰。 ・「国産材回帰」に伴う、原木・製品の買占め。 ・所有者不明山林の荒廃による災害の発生。 ・人口減少に伴う新築着工数の減少。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム専門業者、地元大工の紹介。 ・自社資源活用により仕入依存脱却。 ・山守、林業事業者の紹介。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>工務店等と連携し、新事業を創出(R6 年度までに)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNS による発信。 ・外部人材利用による設計など。 ・地域大工職人、建築業者との連携強化。
自社の事業活動が引き起こす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材、納品にかかる CO2 排出。 ・過剰な値引き販売による木材業界全体の単価低減。川上に活動資金が行かず、担い手も不足し、森林荒廃が進む懸念。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内木材利用により搬出⇒納品までの行動範囲が限定され、大手工場から仕入れるより CO2 排出は少なくなる。 ・計画的な製材、計画的な搬入により無駄な動きを無くす。「今日やること」を話し合い割り切って、製材しない日などを決める。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>自社内の国産材取扱比率を増加させる(R5 年度より)</p> <p>現状 国産 1:外材 1 R6 年度 国産 3:外材 1 R9 年度 国産 4:外材 1</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入製品の割合、m3 数算出。目標設定し仕入抑制を図る。 ・年間製品売上m3 を把握し、自社製品の割合を確認する。 ・山、市場との情報共有に努め、必要な原木量、時期などを把握。不必要な伐採は行わない体制づくり。

環境(2/2)： 有限会社久米製材所

	取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
カーボンニュートラル			
	<省エネ> 燃料消費量の削減	<p><KPI> CO2 排出量 78t-CO2/年(R3/4 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配達方向を取りまとめ、集約して配送業務を行っている。 ・帰り便が空とならないよう、プレカット工場などと情報共有し、予定を組んでいる。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> CO2 排出量 70t-CO2/年(R6 年度時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重量物を取り扱うため、大幅な削減は現実的ではない。J-クレジット購入などによる排出権獲得をし相対的に削減を図る。 ・国産材原木消費を現在の倍にする。 ⇒地域で生育、CO2 固定化されたものを原材料として製品化することで、森林サイクルを回し、CO2 吸収量の相対的な増加へ寄与する。
	<省エネ> 電力消費量の削減	<p><KPI> CO2 排出量 34.7t-CO2/年(R3/4 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工機械のコンセントを抜く。 ・使用しない部屋、場所などの電機は消す。 ・乾燥機作業は先の予定に沿って計画的に無駄なく行う。 ・仕事量に応じて割り切って「製材しない日」を作るようにしている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> CO2 排出量 20t-CO2/年(R6 年度時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気室移設・設備更新を検討中(キュービクルの更新) ・断熱気密性能を拡充させ空調などでの電力消費を抑える。 ・上記更新・移転計画後の R5 年度以降に電力事業者選定予定。再エネ由来の電力使用にシフトさせていく。

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
廃棄物の削減	<p><KPI> 総廃棄物発生量約 4.0t/年(R3/4 時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業性廃棄(産廃バケツ:2t)年間 2 杯利用。 ・製材屑、おが粉、カンナ屑はバイオマス発電業者、地域酪農家資材として販売・再利用。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> 総廃棄物発生量 3.0t/年(R6年度時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規おが粉利用業者の拡充。 ・紙の裏面利用などの細かな取り決め。 ・紙ベースの業務廃止。
環境配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産材由来製材へシフト中(国産材 50%外材 50%)。 ・設備投資により国産材歩留向上を計画。 ・AD材(自然乾燥材)の利用促進。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>社内での製材比率を国産材 3、外材 1 へ転換する。(R6年度)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製材職人との木取りに関する打ち合わせ・計画。 ・工場施設屋根への太陽光発電設置・売電。
環境面での社会貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合法木材取扱業者」として、違法伐採された木材は使用しない。 ・証明書類により木材流通ルートを明確化している。 ・遠方の大規模工場製品仕入は抑制し、県内隣県程度で収まる仕入ルートを確保。流通時のCO2削減に努めている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>事務所備品はグリーン商品利用を 100%にする(R7 年度までに)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FSC認証の紙資源を利用する。 ・社内端材を利用した休憩スペース作成。